

地 球 温 暖 化 対 策 計 画 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	LEGOLAND Japan合同会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	愛知県名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地1
工場等の名称	LEGOLAND Japan合同会社
工場等の所在地	愛知県名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地1
業 種	生活関連サービス業、娯楽業
業務部門における 建築物の主たる用途	その他
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	ホテルを含むテーマパーク
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	令和4年7月29日 ～ 令和7年3月31日		
公表方法	○	掲 示 閲 覧	（場 所） テクニカルサービス事務所
		ホ ー ム ペ ー ジ	（HPアドレス）
		冊 子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	テクニカルサービス 052-740-8573		

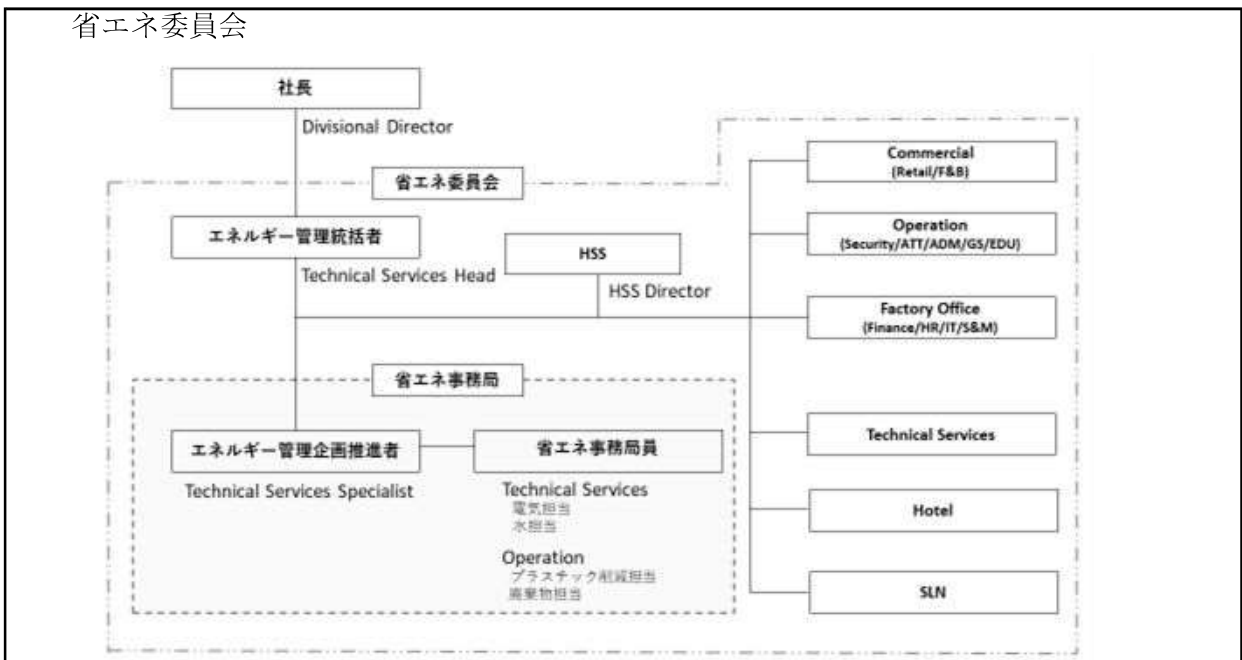
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

私達は、リゾートの運営がごみや温室効果ガスを排出するなど、地球環境に影響を及ぼすことを認識しており、環境への影響を最小限に抑えることは持続可能なビジネスの成功のために不可欠です。

レゴランド®・ジャパン・リゾートは、キッズリゾート施設としてお子さまとご家族に笑顔を提供するとともに、省エネルギーや廃棄物削減など世界規模の環境保護に積極的に取り組んでまいります。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,950	t-CO ₂
① （温 室 除 く 二 室 酸 効 く 化 果 炭 ガ ス 換 算 排 出 量 ）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	3,950	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 6 年度	
			目標排出量		目標削減率	
温 室 効 果 ガ ス 総 排 出 量	3,950	t-CO ₂	4,590	t-CO ₂	▲ 16.2	%

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 6 年度	
			目標排出量		目標削減率	
原 単 位 あ た り の 排 出 量		CO ₂		CO ₂		%

（2）目標設定の考え方

令和2年度及び3年度は、新型コロナの影響を受け、営業時間短縮、入場者数制限、一部アトラクションや飲食施設の休止等を行ったためエネルギー使用量が減少した。 令和4年度以降は、コロナ前の状況に戻るとされるため令和1年の総排出量（6,037t-CO ₂ ）をベースに毎年1%削減し5年後の令和6年には5%削減する考え方とした。 また令和4年度新規計画書では電力のCO ₂ 排出係数が0.472→0.379（80%）に変更されているので考慮した。 目標排出量＝4,590t-CO ₂ （6,037×0.95×0.8）から目標削減率を逆算した。

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

指針第 1 号様式

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

[illegible]

指針第 1 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

- ・太陽光発電設備導入（令和 5 年～ 6 年）

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

- ・トイレの暖房便座化に合わせて擬音装置導入、プール等の水位制御による不要排水防止
- ・ペーパーレス化の推進
- ・古紙の分別回収、生ゴミリサイクルの継続
- ・プラスチック削減
- ・環境教育の実施

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

- ・金城ふ頭まちづくり協議会主催合同清掃活動